

可茂農林事務所の普及活動状況 令和7年6月4日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■岐阜県女性農業経営アドバイザー（GLAMA） 可茂地区の活動支援

県では農業経営に意欲的に取り組み、地域の活性化や女性の社会参画等に中心的役割を果たしている農業女性を「岐阜県女性農業経営アドバイザー」として認定している。

5月13日に、GLAMAいきいきネットワーク可茂地区総会及び第1回全体会議を可茂総合庁舎にて、会員6名と今年度新たに会員となった1名を加えて開催した。

全体会議では具体的な研修内容について協議し、会員の経営品目が異なる中、共通する雑草対策について、主体的に作業に関わることができるよう刈払機の使用方法に関する研修会を計画することとした。

また、会員同士の交流も継続して実施し、可茂・郡上・武儀地区で活動する中濃ブロック及び県連の研修会や農業高校生への出前講座など、農林事務所はアドバイザーの自主的な組織活動への支援を引き続き行っていく。



【総会の様子】

(地域支援第二係)

■夏秋トマト・美濃白川夏秋トマト部会 令和7年産美濃白川夏秋トマトの栽培が始まる

白川町・東白川村では「美濃白川夏秋トマト」として、標高400m以上の地区を中心に高収益な夏秋トマトの生産が行われており、産地を維持するための対策として、移住者の定着支援に力を入れている。就農前の研修は「あすなる農業塾長」が栽培技術を伝授し、就農5年後までの新規就農者には、農業普及課が濃密な指導を行い、現在は生産者の半数以上を移住者が占めるに至っている。

5月1日にはトマト部会主催で「苗見会」が開催され、18名が参加した。各生産者が苗を持ち寄って情報交換を行い、農業普及課からは近年、課題となっている高温対策を主とした栽培方法の研修を行った。

また、5月9日には農業普及課主催で第1回「トマト栽培夜間ゼミ」をJAめぐみの育苗センターで開催し、就農5年以内の4名と来年就農予定の研修生2名を対象に、育苗と定植についての研修を行い、質問も多く予定時間を超過する程、活発な勉強会となった。今後は月1回開催することで、新規就農者の早期の技術及び知識向上を図る。



【苗見会の開催状況】

(園芸産地支援係)

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■小麦・管内小麦生産者 小麦赤かび病対策の徹底

管内の小麦（品種：さとのそら）は、美濃加茂市、富加町、御嵩町において40.5ha作付けされている。生育は各地域ともに概ね順調に推移し、4月中旬から下旬に平年並みの出穂期を迎えたが、5月以降、品質に大きな影響を及ぼす重要病害「赤かび病」が発生しやすい気象が続き、5月16日には麦類赤かび病に関する注意報が発表された。

農業普及課では、現地巡回を通じて生産者に対して赤かび病適期防除の徹底を図るとともに、穂揃期以降に発生状況を調査した。調査は4月下旬から5月中旬にかけて実施し、各地域とも収穫・出荷にあたり許容範囲内の発病穂率（発病を確認した穂の割合）であり、防除を実施した効果が現れていることを確認した。

管内の小麦はまもなく成熟期を迎えるが、農業普及課では実需者ニーズに対応した高品質小麦の収穫に向けて今後も支援を継続する。



【調査の様子（富加町）】

(地域支援第一係)